

令和3年度福島県スポーツ推進審議会委員及びWG（ワーキンググループ）による意見と応答について

意見募集期間：5月10日（月）～5月31日（月）

◇表の見方について：委員及びWGのご意見や質問に対する事務局案を記載した項目については○を記載しております。

◇進め方について：今回、様々な意見・質問をいただいておりますが、基本理念、基本目標、各体系毎の指標及び項目が適切かどうか文言等のご検討をお願いします。なお、案を認めていただいた後、項目毎に内容等説明文を今後作成し、再びご意見をいただく予定です。

○基本理念・基本目標について

No.	項目内容（案）	ご意見等	事務局案
1	<p>【基本理念】について</p> <p>県民の誰もが豊かなスポーツライフを創造できる「生涯スポーツ社会の実現」</p>	<p>○スポーツライフを「創造する」とは、国の文言よりも壮大に感じる。「享受できる」くらいの方があっているのでは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本理念継承に賛成です。 ・年齢層に応じたスポーツイベントやスポーツ教室を開催する。特に小中学生の体力は全国平均より劣っており、体力、体位の向上に努める。 ・（時期計画案）に賛成する。国の基本法の基本理念第二2～8を、福島県民に向けて集約され、明確な目標になっている。 	<p>○提案【文言について】</p> <p>「創造する」の文言は、自らが創り上げるといったことを伝えるメッセージ性があり、「享受できる」の文言はやや受け身の印象を与えやすい表現であると考え、案のとおり提案いたします。</p>
		<p>(WG)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行計画の継承でよいと考える。 	

No.	項目内容(案)	ご意見等	事務局案
2	<p>【基本目標】について</p> <p>県民が生涯にわたってスポーツに親しみながら、地域で心豊かに暮らす「スポーツふくしま」を実現する</p>	<p>○国が使用している「自発的に」を入れてもよいのではないか。また、現行の「人と地域が輝く」も残したい。そこで、県民が生涯にわたって自発的にスポーツに親しみながら、心豊かに人と地域が輝く「スポーツふくしま」を実現するというのはどうでしょうか。</p> <p>「心身ともに健やかに暮らすことができる」という考え方もありますがどうですか？</p> <p>「自主的・自律的かつ継続的に」という表現は、何か「やらされている」というイメージがあり、その意図を含みながら簡潔にした点はよいのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを継続的にすることによって肉体的・精神的健康を維持することができる、それが「心豊かに暮らす」ことができることにつながるのではないか。 ・スポーツを通して気持ちの良い汗をかくことでの壮快感、達成感。 ・地域で心豊かに暮らす視点、とても大切なことです。 ・(時期計画案)に賛成する。身近な表現を用いて作成されている。 ・「心の豊かさ」は漠然とした表現で理解しがたいと感じた。 <p>(WG)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行の目標は"人と地域が～実現する"となっており、つながりが感じられる。 ・「スポーツに親しむ」について、それぞれの県民の立場で「親しむ」の形は違うと思われるので、どの県民にも何らかの形で関係するように「施策」の内容が十分に検討されるとよいと思う。 	<p>○提案【文言について】</p> <p>「自発的に」の文言については、理念の「創造する」の文言の意味に含まれることや他の委員のご意見なども踏まえ削除し、下記の3案を提案いたします。</p> <p>案1 県民が生涯にわたってスポーツに親しみながら、<u>心豊かに人と地域が輝く</u>「スポーツふくしま」を実現する</p> <p>案2 県民が生涯にわたってスポーツに親しみながら、<u>地域で心身ともに健やかに暮らすことができる</u>「スポーツふくしま」を実現する</p> <p>案3 原案のとおり</p>

1 生涯スポーツの施策体系案の代表指標、関連指標について

No.	項目内容(案)	ご意見等	事務局案
3	代表指標 成人の週1日以上のス ーツ実施率	<ul style="list-style-type: none"> ・賛成です。 ・漠然とした指標ですが、国との比較指標であれば致し方ないです。 ・評価Bを目指す。 ・県民が参加しやすい様々なスポーツイベント等を計画することができればよい。 ・施設(利用スペース)の確保。実際には施設が少なく、できるのが限られております。特にコロナ禍となり、施設が使用制限、使用禁止となっております。 ・現行69%以下の指標(D)を受け止め、(C)評価に一層の努力を求める。 (WG) ○代表指標「成人の週1日以上のス ーツ実施率」の表記についての変更を提 案。	○提案【文言追加について】 代表指標「成人の週1日以上のス ーツ実施率」の表記では、「運動」について疑義が 生じることから、「運動・」を追加し、「成 人の週1日以上の運動・スポーツ実施率」を 提案いたします。
4	関連指標① 全国体力・運動能力、運動 習慣等調査における新体力テ ストの全国平均との比較割合 (公立小・中学校) ⇒ (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・これは大切な指標です。 ・男子の体力、運動能力が全国平均より劣っているため、女子並みにA評価を目指す。 ・どうしても学校教育にかかる割合が大きいのと思われませんが、それ以外の機会を増やしていければよい。 ・コロナ禍で仕方がない。 ・目標値に対する達成状況及び指標については、良い成果をおさめている。平均値以下の生徒・児童の向上を求める。 ・市町村単位で促進を呼び掛ける。 	☆案のとおり提案いたします。

No.	項目内容 (案)	ご意見等	事務局案
5	<p>関連指標②</p> <p>この1年にスポーツに関するボランティアに参加した割合 ⇒ (2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国に比べて目標値が高すぎるかも。 ・C評価を目指す。 ・コロナ禍で難しい状況にあるが、オリンピックも含めた様々なイベント等でスポーツを支える人が増えていけばよい。 ・ボランティアに参加して身体を動かすこともスポーツと考えれば意味あること。 ・現在ボランティア活動している方々からの声かけや小中学生でスポーツ少年団等に参加している親を対象に増員を図るのもいかがでしょう。 ・ボランティアをする行事がなかった。 ・参加率の低さに驚いた。2020オリンピックを機にボランティアの参加率がアップすることを願う。 ・コロナ禍での難しさはあるが、「みる」機会を増やす。 <p>(WG)</p> <p>○関連指標「この1年にスポーツに関するボランティアに参加した割合」は、毎年度、その状況を把握したほうがよいのではないか。</p>	<p>○提案 ご意見を踏まえ、「この1年にスポーツに関するボランティアに参加した延べ人数」に変更し、県の主要な事業等における実績を集約することで、毎年度の実績を把握していくことを提案いたします。</p>
6	<p>関連指標③</p> <p>「学校体育施設（グラウンド及び体育館）の開放率」 ⇒ (4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の部活動との関係があるので、開放率の数字が一人歩きすると、学校側（教育委員会）が協力していない印象になるのは如何なものか。 ○小中はすでに高い数字で変化する可能性があるのでしょうか。 ○学校施設開放時に生じた事故の責任問題の対応は？ ・小中学校はA評価を高校はC評価を目指す。 ・高校がD評価だが、部活等の練習時間を考えると仕方ないのでは。 ・コロナ禍の状況では臨機応変に対応してよい。 ・令和元年度の達成状況で小中学校の95% (B) は成果が現れている。小中学校は地域との関わり合いが密になっているとも考えられる。高校は県立になるため、気軽に利用できなく受け止めているよう。 ・学校の施設開放については、可能な限り協力しており、多くの方に活用していただいている。どの学校についても更に開放を進めていければよい。 	<p>○回答 学校体育施設の開放に際しては、部活動の在り方に関する方針で、土日の利用拡大なども見定めることから、継続して指標として含めてまいります。</p> <p>○回答 今後、県内各市町村に対し、スポーツ推進計画の策定に向けた普及啓発活動を行う予定です。より身近な運動施設での運動・スポーツの普及が推進できれば開放率の向上が期待できると考えます。</p> <p>○回答 事故に起因する事象に応じて判断されるものと考えます。</p>

No.	項目内容(案)	ご意見等	事務局案
7	関連指標④ (新)市町村のスポーツ推進 計画策定状況調査 ⇒(5)	○計画策定も大事だが、実行したかどうかの方がもっと大事なような…。 ・絶対必要。医療費のひっ迫を嘆く前にやるべきことであると首長さんには言いたい。 ・市町村のスポーツ推進計画策定状況調査が導入されたことにより、より多くの情報が得られるので、とても良いと思います。 ・特に強化していただきたい。 ・首長のスポーツに関する基本的な考え方により差が生じている。	○回答 計画的にスポーツを推進していく上で計画の策定は不可欠な業務と考えており、国の第2期スポーツ基本計画や行動計画でも策定が期待されております。 計画に沿った施策の実行に努めてまいります。
8	関連指標⑤ 生涯スポーツに関連する行事 に参加した延べ人数	(WG) ○関連指標に生涯スポーツの「する」指標がない。「生涯スポーツに関連する行事に参加した延べ人数」を加えてはどうか。	○提案【指標の追加について】 関連指標⑤として「生涯スポーツに関連する行事に参加した延べ人数」を追加することを提案いたします。
9	関連指標⑥ (新)総合型地域スポーツク ラブ事業への参加者数	(WG) ○「総合型地域スポーツクラブ事業の参加者数」を、生涯スポーツの施策体系案の指標に追加してはどうか。	○提案 ご意見を踏まえ、関連指標⑥として「総合型地域スポーツクラブ事業への参加者数」を追加することを提案いたします。

○ 生涯スポーツの推進に関する取組について

No.	項目内容(案)	ご意見等	事務局案
10	目標～目指す姿～ 「誰もが身近な地域でスポー ツを親しむ機会の創出」	○親しむ機会というよりは、よりスポーツを能動的に享受している姿にしたいので、楽しむ機会にした方がよい。 ・必要 ・スポーツ施設が簡単に利用できることが肝要。 ・施設(場所)が少なすぎる。 ・理解しやすい言葉での目標設定として好感が持てる。 ・種目に特化せず、なるべく多種類を体験してもらう。	○提案【文言の変更について】 ご意見を踏まえ、また、スポーツ本来の目的は「楽しむ」ことから、生涯スポーツの目標の文言を「楽しむ機会」へ変更することを提案いたします。

No.	項目内容(案)	ご意見等	事務局案
11	<p>(1) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進(する)</p> <p>①各カテゴリーにおけるスポーツイベント等の開催 ②子どものスポーツ機会の充実(児童・生徒の体力の向上の取組含む)</p>	<p>○ライフステージにおいて、「各カテゴリー」とは何を指しているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これがスポーツ行政の根幹。 ・スポーツ指導者の充実。 ・順位やタイムを競うようなイベントもありますが、「親子で体力を向上させよう」などといったイベントもあってよいのではないか。 ・スポーツイベント等(?) 機会の創出 ・健康教育の時間を増やしてはいいか? ・各カテゴリーにおけるスポーツイベントの開催→具体的な計画に欠如 ・②スポーツの不得意な子どもに対しても興味を持ってもらうよう工夫する。 <p>(WG)</p> <p>○(1)の項目に「企業・大学・地域等との連携・協働」を加えるべき。</p>	<p>○回答 「各カテゴリー」とは、年代別、性別、障がいの有無など、様々な属性を包括する意味で使用しております。</p> <p>○回答 全ての施策に共通する課題として計画に記載し、計画を推進する上での基本的な考え方として整理させていただきます。</p>
12	<p>(2) スポーツを「みる・ささえる」機会の充実(みる・ささえる)</p> <p>①スポーツ関連情報の発信 ②観戦、応援するスポーツの促進 ③(地域) スポーツを支える人材の育成 ④スポーツボランティアの育成・活用</p>	<p>○③と④の違いがわかりにくいかも。</p> <p>○③(地域) スポーツを支えるは、SCとの合同で考慮できないか? ④育成も重要だが、支える機会での活用もほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは、観戦や応援をする機会が増えれば、ボランティアもやってみようかと思う人も増えていくのではないか。 ・①情報の発信は現状で十分です。要するにスポーツに関心のある人は、いろいろな手段で知ろうとします。③、④ 当人たちも楽しみながら活動に参加できれば嬉しいこと。 ・特に①、最近充実してきましたね。 ・スポーツに興味を持っていただけるように、ルールとかの知識を教えたり、観戦の機会を増やすことが必要。 ・スポーツボランティアの育成、活用 ・③かつての指導者に依頼して、サポートしやすい土壌を模索する。 <p>(WG)</p> <p>○旧計画には、4 スポーツ交流の推進(3) プロスポーツ等との交流の推進があり、観戦機会や選手との交流に努めることを記載していたが、新計画では交流に関してはなくなったのか。または、1(2) スポーツを「みる・ささえる」機会の充実に組み込まれたのか。</p>	<p>○回答 ③のスポーツを支える人材とは、企画・運営する人材や、地域の実態や住民のニーズに応じた指導ができる総合型クラブのクラブスタッフ、地域のスポーツ指導者、スポーツ推進委員、障がい者スポーツ指導者など専門性を有した人材を想定しております。</p> <p>○回答 地域と総合型SCの関わりや有効な活用については今後の検討課題と考えております。支える機会での活用も検討してまいります。</p> <p>○回答 プロスポーツについては、項目の説明の中でプロスポーツ等との交流の推進について記載させていただきます。</p>

No.	項目内容(案)	ご意見等	事務局案
13	<p>(3) スポーツ(を通じた)ネットワーク体制の強化(ささえる)</p> <p>①総合型地域スポーツクラブ(SC)の機能強化</p> <p>②SCと関係機関・団体との連携の推進</p>	<p>○表題(3)に対して①、②とも総合型のこののみ、というのは、やや違和感が。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SCと関係機関、団体との連携の推進。 ・コロナ禍で活用が減少している「総合型地域スポーツクラブ」の活用をアナウンスすることが必要ではないか。 ・要は運営のための経済支援をしっかりと絵に描いた餅になります。 ・各機関・団体との連携を図り、体制の強化、必須です。 ・SCの機能強化、各団体との連携の推進。これからの高齢化社会の中での重点施策と具体的な取組を示してほしい。 	<p>○提案【文言の訂正について】</p> <p>②「SCと」を削除して「関係機関・団体との連携の推進」へ変更を提案いたします。</p>
14	<p>(4) スポーツ施設の機能強化(ささえる)</p> <p>①既存施設の有効活用やストック化の促進</p> <p>②学校施設開放の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・廃校になったあとの利活用など、考えるべきことはたくさんあります。学校施設開放は学校の事情を尊重して進める。 ・既存施設の充実と活用。 ・身近なスポーツを推進するには、不可欠なことになる部分。一層の促進を望む ・②開放中に起きた事故に対する説明等。 <p>(WG)</p> <p>○①の「ストック化の促進」については、わかりにくい表現であることから削除してもよいのではないかと。</p>	<p>○提案【文言の削除について】</p> <p>「ストック化の促進」を削除し、「①既存施設の有効活用」へ変更を提案いたします。</p>
15	<p>(5) 市町村スポーツ推進計画策定の促進(ささえる)</p> <p>①(市町村)セミナー等をおとしたスポーツ推進計画策定の普及啓発</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康に老いるということに関心が低い。市町村はこれからが大変になるという危機意識が低いからだと思う。 ・市町村のスポーツ推進計画を具体化できるような取り組みがあればよい。 ・難しくない気軽なセミナーがあるとよい。 ・市町村のスポーツ推進計画策定は一般的に活用されていないように感じる。一般までの浸透・啓発について時期早々にスタートをお願いしたい。 ・一流のアスリートの講演等実施する。 	<p>☆案のとおり提案いたします。</p>

2 競技スポーツの施策体系案の代表指標、関連指標について

No.	項目内容 (案)	ご意見等	事務局案
16	代表指標 国民体育大会天皇杯順位	<p>○国際大会に出場する競技者数がA評価なので、国民体育大会天皇杯順位目標を25位以内へ変更は夢でしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このことに真剣に取り組むことによってスポーツの振興が図られてきたことは紛れもない事実なので、大事に取り組んでいかなければならない。 ・一桁の順位は無理でも、20位台を目指す。 ・各競技団体で強化策を進めていると思いますが、強化に必要な様々なもの(人、金、物)があればよいのではないか。 ・競技力の向上=天皇杯順位の結果 競技力向上にはスポーツの環境が重視される中での整備も課題としてほしい。 ・目標順位の数字とかは後にし、各種目毎に成績向上を掲げる計画を出してもらおう。 	○回答 国際大会で優秀な成績を収めた選手の国体への派遣を競技団体との連携により実現を目指しているところではありますが、現行順位等も勘案しながら目標を検討してまいります。
17	関連指標① 全国大会で上位入賞する競技者数 ⇒ (1) (3) (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・団体種目をA評価に。 ・それぞれの競技の素質を持った選手を計画的に強化していくシステムの構築が望まれる。 ・県の人口に対して低いような気もしますが、現実的ですね。 ・ここに関心を持って頑張ることは、県民の皆さんに明るい話題を提供できますので、この指標は大切です。 ・アスリートの育成が必要。 ・新計画案を賛成 施策体系に沿っての実施を願う。 ・指導者の育成・継続に尽きる。 	☆案のとおり提案いたします。
18	関連指標② 国際大会に出場する競技者数 ⇒ (2) (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・自前の選手であればなお良いと思います。 ・国際大会に出場する競技者を更に増やして上位入賞者を育成強化する。 ・アスリートの育成が必要。 	☆案のとおり提案いたします。

○ 競技スポーツの推進に関する取組について

No.	項目内容(案)	ご意見等	事務局案
19	目標～目指す姿～ 競技力の向上に向けた持続可能な強化の推進	○「持続可能な強化体制」ならわかるが。もしくは「持続的な」の方がすんなり入る。 ・優秀な指導者の増員。 ・今後も充実させるべきです。	○提案【文言の変更について】 ご意見の通り、「持続可能な強化の推進」を「持続可能な強化体制」へ変更を提案いたします。
20	(1) 競技力向上の推進(する) ①各競技団体の競技力強化 ②一貫した強化体制の推進	○②一貫指導体制の強化・推進。「一貫した」というよりは一貫指導体制と一つの言葉になっているのではないか。 ・競技団体の健全な運営のもとに強化体制の推進が図ればよい。 ・指導者のレベルアップを図る。 ・①競技による偏りがないか検証すべきである。 ②バドミントンの本県の成果を推進強化してほしい。 ・支える側、支えられる側の意思の疎通が必要。当然支えるべきだという考えを、支えられる側が持ったら発展はない。 ・県独自のアスリート発掘テストの実施(チャレンジ・ザ・福島) ・指導者が大事。 ・いろいろな支援があるが、一層の努力をお願いしたい。	○提案【文言変更について】 ご意見の通り、②「一貫した強化体制の推進」の「一貫指導体制」への変更を提案いたします。
21	(2) アスリートの発掘・育成・強化(ささえる) ①国際的な舞台で活躍するアスリートの強化支援 ②次世代アスリートの発掘・育成・強化の支援	・支える側、支えられる側の意思の疎通が必要。当然支えるべきだという考えを、支えられる側が持ったら発展はない。 ・県独自のアスリート発掘テストの実施(チャレンジ・ザ・福島) ・指導者が大事。 ・いろいろな支援があるが、一層の努力をお願いしたい。	☆案のとおり提案いたします。
22	(3) 競技力の強化を支える人材の育成(ささえる) ①指導者・スタッフの育成と資質の向上 ②若手指導者の育成	・競技団体の人材不足は否めない。長い間同じポジションに居座っている人が多い団体は発展性が望めないで、もっと内から指導者(後進)の育成意識を高めるべき。 ・全日本クラスの指導者の採用。 ・スポーツ指導員の資格を取得する若手の指導者を育てることが必要。 ・現在の状況などを考慮すると難しい。 ・個性の強弱により問題が発生しやすいので、資質向上のための指導強化。 ・いわゆるハラスメントに対する面での指導も行う。	☆案のとおり提案いたします。
23	(4) 競技力の強化を支える環境の整備(みる・ささえる) ①スポーツ医・科学、情報等を活用した支援 ②スポーツ・インテグリティの向上 ③トップアスリートのキャリア形成の促進 ④企業・大学・地域等との連携・協働(*運動部活動との連携含む)	・医学的な見地や科学的な見地から、強化策を見出ししていくことも必要ではないか。 ・最新スポーツ医・科学の活用(セミナー等) ・全てが必要。 ・トップアスリートのプレーンには、近年、大学の研究室との協力でデータ分析している。地方では遅れが生じてるように感じるが多々ある。是非とも④についての取組に期待する。 ・現役問わずトップアスリートの「話し」とかも聴いてもらう。	☆案のとおり提案いたします。

3 障がい者スポーツの施策体系案の代表指標、関連指標について

No.	項目内容(案)	ご意見等	事務局案
24	代表指標 (新)障がい者スポーツ教室・大会参加者数	・大会での活動状況を見ていると、活動意欲があると感じる。場の提供は大切。	☆案のとおり提案いたします。
25	関連指標① (新)体育施設等のバリアフリー化の促進・合理的配慮の推進状況⇒(1)(2)(5)	○調査がされているのか?(方法は?) ・上をみればキリがないが、やはり計画的に推薦していくことが大切。 ・本県公共体育施設のバリアフリー化の数値は加えるべき点。	○回答 現在は調査されていません。県の市町村活動状況調査で行う予定です。 ※、「合理的配慮」とは障がい者の実態や特性に応じた環境を整備すること。要望があった場合には、支援者の過度の負担にならない範囲で支援するの意。
26	関連指標② 日本障がい者スポーツ協会公認スポーツ指導者数等⇒(3)	・総合型クラブマネージャー養成講習会、スポーツ推進員の研修会など、一般スポーツの各種研修・講習会においても、障がい者への対応等のカリキュラムや情報を取り入れることが必要。地域においては2030年の高齢化社会、2040年の超高齢化社会を見据え、幅広い指導スキルを獲得した指導者の育成が急務と考える。 ・もっと増やさないと、活動したくともできないこととなる。	☆案のとおり提案いたします。

○ 障がい者スポーツの推進に関する取組について

No.	項目内容(案)	ご意見等	事務局案
27	目標～目指す姿～ 障がい者の特性に応じたスポーツ参画機会の促進	・学校体育における障がい児者の体育の充実 ・特別支援学校における部活動の推進 ・普通校に通う障がい児者の運動部活動の積極的参加 ・促進してほしい。	☆案のとおり提案いたします。
28	(1)障がい者のスポーツ活動・参加機会の充実(する) ①障がい児のスポーツ活動の推進、成長に合わせたスポーツ指導 ②スポーツイベント等への参加 ③SCとの連携	○①で障がい児に特化しているが、障がい者のスポーツ推進が見えないし弱い感じがする。 ・マンパワーの不足を感じている。 障がい者の方が参加しやすいスポーツイベントを計画・運営することが必要。 ・間口を広げ、健常者との交流も大事。 (WG) ○(1)の項目に「企業・大学・地域等との連携・協働」を加えるべき。	○提案【文言追加について】 ①の障がい児の後に「・者」を追記し、「障がい児・者のスポーツ活動の推進、成長に合わせたスポーツ指導」へ変更を提案いたします。 ○回答 全ての施策に共通する課題として計画に記載し、計画を推進する上での基本的な考え方として整理させていただきます。

No.	項目内容(案)	ご意見等	事務局案
29	(2) パラアスリートの発掘・育成・強化(ささえる) ①パラアスリートの発掘、育成支援 ②(パラ)各競技団体への支援	・経済的な支援があるとパラアスリートは育ちます。自助努力だけでは限界があるので考慮されたい。 ・パラサイクリング連盟の強化拠点がいわきFC内にあり、東京2020パラリンピックに向けて強化を続けているので支援を。 ・パラアスリートを支えるスポンサー等が数多く手を挙げてもらえればよいと思う。 ・指導者の育成が必要。	☆案のとおり提案いたします。
30	(3) 障がい者スポーツ推進体制・人材育成(ささえる) ①指導者の養成 ②ボランティアの育成・連携	○審判の育成も。 ・指導者の養成(ポッチャ競技のコーチは福島県在住) ・指導者不足は否めない事実。 ----- (WG) ○「ボランティアの育成・連携」の表現は、わかりにくいのではないかと	○回答 審判の育成については、説明文に追記させていただきます。 ○提案【文言の削除について】 ご意見を踏まえ、「・連携」を削除し、「ボランティアの育成」に変更し、「連携」の部分については説明文に記載する案で提案いたします。
31	(4) 障がい者スポーツ推進のための環境整備(みる・する・ささえる) ①活動拠点の整備 ②バリアフリー化の促進、合理的配慮の推進(学校体育施設、公共施設) ③学校、福祉事業所におけるスポーツ用具の設置	・当然のことが出来ていないことがあまりにも多い。 ・学校、福祉事業所、体育施設におけるスポーツ用具の設置 卓球やバレーボール等と一緒に用具を設置し、近い将来には健常者も障がい者と一緒に楽しめるようになってほしい。 ・活動拠点の整備 ・様々な施設のバリアフリー化をさらに進める必要がある。 ・多くの機会に参加する。 ----- (WG) ○障がい者スポーツに係る用具の有効活用を図ることで、学校、福祉事務所に限らず、多くの施設で用具を活用することができるのではないかと	○提案 ご意見を踏まえ、③の表現を「障がい者スポーツに係る用具の有効活用」へ変更を提案いたします。
32	(5) 障がい者スポーツ活動の理解促進(みる・ささえる) ①障がい者スポーツの魅力発信 ②障がい者スポーツ関連情報の発信	・東京パラリンピック以降の沈滞化が心配されます。スポンサーも縮小され危機感を感じます。 ・各種競技大会を開催することでパラスポーツの魅力を発信する。 ・体験会の実施とか。 ・例えばポッチャなどを一緒に行う。 ----- (WG) ○障がい者スポーツにも「観戦、応援するスポーツの促進」が必要ではないかと	☆案のとおり提案いたします。 ○提案 ご意見を踏まえ、「生涯スポーツの推進に対する取組(2)②の再掲として③に入れることを提案いたします。

4 オリンピック・パラリンピックのレガシーの施策体系案の代表指標、関連指標について

No.	項目内容(案)	ご意見等	事務局案
33	代表指標 (新) 総合型地域スポーツクラブ事業への参加者数	<p>○オリパラレガシーの指標がSC事業参加者数なのはなぜ？(スポーツイベント参加者数や観客者数、オリパラ種目の登録者数、運動部員数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブへの参加者数をA評価に上げる。 ・コロナの影響で参加者数が激減しているようですが、感染防止対策を十分講じながらよりよい事業を展開していければよい。 ・大きな枠組みで考えるべきことで、各クラブの担当者が努力しても限界に当たります。 	<p>○提案 オリンピック・パラリンピックのレガシーについては、現在庁内で検討していることもあり、代表指標については後日提案させていただきます。</p> <p>なお、本指標は生涯スポーツ施策体系の関連指標⑥として提案いたします。</p>
34	関連指標① (新) 総合型地域スポーツクラブへの高齢者の登録者数(高齢の障がい者含む) ⇒ (1)	<p>○現クラブでさえ充実させるのが大変な中で、高齢者にも目を向けるのは難しいのではないのかと思う。</p> <p>コロナの影響がまだまだあると考えられるので、推進は難しいように思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツ関連行事、事業の推進により高齢者のスポーツへの参加を促す。生涯現役の精神で。 	<p>☆案のとおり提案いたします。</p> <p>○回答 年齢・性別を問わず、スポーツのみならず、文化複合の形も認められている総合型地域スポーツクラブは、地域のコミュニティとしても期待され、高齢者の主体的な活動が可能であると考えられます。</p>

○ オリンピック・パラリンピックのレガシーの推進に関する取組について

No.	項目内容(案)	ご意見等	事務局案
35	目標～目指す姿～ 東京オリ・パラを契機とした、スポーツによる活力ある地域づくりの推進	・専門的な競技スポーツの拠点作りを行う。指導者も含めて。 ・オリンピックを記念したイベントを作り、毎年(期間は様々だと思うが)実施できればよい。	☆案のとおり提案いたします。
36	(1) スポーツ参画人口の拡大(する・みる・ささえる) ①各カテゴリーにおけるスポーツイベント等の開催 再掲(生涯) ②スポーツボランティアの育成・活用再掲 再掲(生涯) ③身近な地域におけるスポーツ機会の充実(高齢者等) ④スポーツツーリズムの普及啓発	・必要性は大。 ・体にやさしいスポーツの普及と啓蒙を図り、高齢者のスポーツへの機会を増やす。(グラウンドゴルフ、パークゴルフ、スポーツ吹矢等) ・③が新規の施策にのることにより、よりスポーツ参画人口の拡大になり、他方面に及ぼす影響も大きい。 (WG) ○(1)の項目に「企業・大学・地域等との連携・協働」を加えるべき。 ○(1)の項目に「ホストタウン等の相手国・地域との交流によるスポーツ活動の促進」を項目に加えるべき。	☆案のとおり提案いたします。 ○回答 全ての施策に共通する課題として計画に記載し、計画を推進する上での基本的な考え方として整理させていただきます。 ○提案 ご意見を踏まえ、「スポーツツーリズムの普及啓発」を「スポーツを通じた交流やスポーツツーリズムの促進」に変更を提案いたします。
37	(2) アスリートが活躍する場の実現(ささえる) ①国際的な舞台で活躍するアスリートの強化支援 再掲(競技) ②トップアスリートのキャリア形成の促進 再掲(競技) ③ロールモデルアスリートの育成と活躍の推進(SCとの連携)	・アスリートのセカンドキャリアに目を向けてやるが必要で、受け皿づくりは急務。 ・国際的な舞台で活躍するアスリートは、ナショナルチーム等強化拠点があるので、次世代を担う若手アスリートの育成と強化が必要とされる。 ・トップアスリートが十分に練習や試合ができる環境を作り、支えることが必要。	☆案のとおり提案いたします。
38	(3) (パラリンピックを契機とした) 共生社会型のスポーツの推進(みる・ささえる) ①障がい者スポーツのサポーター拡大 ②活動拠点の整備 再掲(障がい者スポーツ) ③心のバリアフリーの理解・定着促進	・ボランティアも。 ・充実させたいものです。 (WG) ○①「障がい者スポーツのサポーター拡大」について、「サポーター」の意味が分かりにくいのではないかと。	☆案のとおり提案いたします。 ○回答 「サポーター」は「ファン」に限らず障がい者スポーツを支える様々な人材を含めた表現としたものです。
39	(4) オリンピック・パラリンピック教育レガシーの継承	・五輪を機に今まであまりスポーツに興味を示さなかった方々(子ども)にも目を向けてもらう。 ・これからの時代、必要なことだと思います	☆案のとおり提案いたします。

回答様式5：その他（専門的なご意見）

No.	その他ご意見一覧	事務局応答
1	<p>・全体として気になったこと</p> <p>基本理念や基本目標のキーワードが「県民の誰もが」や「生涯にわたって」となっている。また「生涯スポーツの施策体系」の代表指標が「成人のスポーツ率実施率」になっていることから推察すると、本基本計画の目標の一つは、誰もがスポーツに親しめる地域社会の実現を目指していると考えられる。</p> <p>しかし、資料2小項目で示されている内容では、「イベントや教室の開催」「情報発信」といった内容が多く、これらの施策では、すでにスポーツに興味関心のある人、スポーツイベントや教室開催にアンテナを広げている人がさらにスポーツ参加や運動習慣獲得に向かうばかりで、運動無関心層への行動変容を促すには不十分ではないかと考える。健康日本21が設定された20年以上前から運動習慣者の増加が目標に掲げられているが、運動習慣者は増加していない。スポーツイベント・運動教室開催、スポーツ情報発信、運動施設開放といった従来路線をそのまま実施するのでは、運動する人と運動無関心者の2極化が進む可能性がある。</p> <p>もちろんイベントや教室開催を否定するわけではなく、これらの施策が運動ステージでいうところの「関心期」や「準備期」にいる人たちを巻き込むためにどのように実施されるかが大事であると考えられる。運動施設の開放も同様に、ただ地域住民が使いやすいようにするだけでは、部活動や運動愛好者が集まるばかりで、県民のスポーツ実施率の向上にはつながらない。</p> <p>生涯スポーツの推進、スポーツ参加人口の拡大に関する点を中心にコメントさせていただいた。計画そのものに対する異議はなく、本基本計画が県民のスポーツ活動推進に実質的に機能することを願っての一意見です。</p>	<p>ご意見を踏まえ、運動無関心層に向けた働きかけについては、「生涯スポーツの施策体系案」の項目の中に盛り込み、課題解決に向けて取り組んでまいります。</p>
2	<p>・コロナ禍におけるスポーツ活動については、通常の状態では活動ができないことを前提に考える必要が出てきたと思う。Withコロナ下でのスポーツ参加の考え方、競技団体の強化の仕方、大会参加、運営の仕方を今後のスタンダードとして捉えた中で、スポーツ推進を図る必要がある。</p>	<p>コロナ禍におけるスポーツ活動については、様々な問題や課題があると認識しております。コロナを含め、災害等に対するリスクマネジメントについて、計画の中に盛り込んでいく考えであります。</p>
3	<p>・感染症防止対策を遵守して頑張るほかありません。コロナ禍のみならず、自己管理の徹底はスポーツを行う人の基本的事項です。</p>	
4	<p>・オリンピック開催の是非について喧しいが選手に対して、「止めさせろ！」という世論に情けない思いをしています。自分たちがコロナ防止対策に協力して、コロナ発生を抑制する努力、協力もしないで言いたいことを平気で言う人たちがあまりにも多いことは民度が低くなっていると残念な思いです。</p>	
5	<p>・新型コロナ対策なしには何もできない状況ですが、県民の皆さんの健康維持のためにも、今やれることをとにかくやるのが大切だと思います。一度低下してしまった体力を回復させるのはとても大変なことです。推進基本計画に必要な事柄をしっかりと盛り込んで、実効性のある内容にしていかなければと思います。</p>	

No.	その他ご意見一覧	事務局応答
6	<p>・福島県スポーツ推進基本計画の策定にあたり勝手な意見を書きました。県民一人ひとりが「スポーツをする」「スポーツを観る」「スポーツを支える」ができるよう、中心的に推進する文化スポーツ局の皆様にはご苦労をおかけしますが、よろしくお願いいたします。</p>	<p>委員の皆様のご意見を参考にしながら、今後も様々な取り組みを進めてまいりますので、今後ご指導等よろしくお願いいたします。</p>
7	<p>・スポーツをするために「ささえる」活動も。コロナ禍では検温、消毒など業務が増え、感染リスクも増えていますが、オリパラ論議等を見ても、ボランティアへの配慮は乏しいように思います。良い機会なので、ボランティア活動に対する理解や評価が高まり、より多くの方がスポーツボランティア活動に参加し、スポーツ文化が深まることを期待しています。</p>	<p>スポーツボランティア活動については、新たな計画にも盛り込んでおり、今後も継続して取り組んでまいります。</p>
8	<p>・毎度会議で申し上げているが、「県民のスポーツ向上＝国体やオリンピック級の選手育成」に偏りがちです。しかし、福島県民の健康度は全国的にもかなり低く、特に子どもの肥満と体力運動能力低下は著しいものとなっています。幼少期からの底上げ的な取り組み（イベントや派遣などではなく）、全県を挙げた1つの大きなキャンペーンの展開が必要かと思っています。</p>	<p>全庁一体となって課題に対処できるよう、他部局とも協力・連携しながら取り組んでまいります。</p>
9	<p>・コロナ禍で試合が中止になり、練習ができない選手が多いと思います。メンタルがやられてしまうことが心配です。メンタルと食は直結しています。今こそ感染しない身体を作ってほしい。自分の持っている免疫力を最大限高めるには、バランスのとれた食事とリズムをくずさないことです。</p>	<p>県体育協会等と連携し、選手のメンタルや食事への課題に取り組んでまいります。</p>
10	<p>・私は現在地域スポーツ活動を「する」「ささえる」立場で携わっている。コロナ禍でおおむね全てのイベントが中止になり、人が集まることも自粛とされる。「感染症対策を講じて…」とはいえ、命の尊さを考えると安易には実施できないのが現実。しかし、その中でも少人数で密を避け、距離を保ち、換気が良い環境を作り出す。「フレイル対策」も考えて活動を構築している。</p> <p>①総合型地域スポーツクラブ月1発行の会報誌を活用A・スポーツ活動時の注意喚起。B・地元の里山登山をシリーズ化誌面紹介。C・「自宅でできるフレイル対策体操」発信</p> <p>②ポッチャ教室の開催 開催回数を増やして分散参加を促す。距離をとってのラジオ体操、マスク着用等々感染症対策。使用後のモップでの清掃作業後、次亜塩素酸水での消毒の徹底。</p> <p>地域性からも感染者数が少ない傾向でもあるが、みんなと一緒に協力する・ささえるがこのような状況の下でもあらわれている。</p>	<p>「フレイル対策」等、今後のスポーツ活動に向けた貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>いただいたご意見を参考に、今後の取組について検討してまいります。</p>
11	<p>・「密」になりにくい種目では、より一層指導機会を増やし、沈みがちな気分を高揚させたい。「密」にならない工夫をしながら身体を動かす習慣を身につけなければ…。種目に関係なく、実績を残したアスリートの経験を話す機会を設ける。</p>	<p>オリンピック・パラリンピックに出場した本県ゆかりの選手やスタッフの協力を仰ぎながら、スポーツのすばらしさを伝える機会の創出を検討してまいります。</p>

No.	その他ご意見一覧	事務局応答
12	<p>・福島県スポーツ推進基本計画の策定期間について 国の基本計画は5カ年となっている。本県のスポーツ基本計画は10年で、中間年に見直しとなっているが、国の基本計画策定期間の策定前に改定される。時期を合わせてはどうか。</p>	<p>当計画の最上位計画である県総合計画の策定期間が今年度予定されているため、それに合わせて当計画も進めております。</p>
13	<p>・各論、各項目数について 各論、各項目に数の制限を設けているが、本県のスポーツ実態に見合った各論設定をすべきではないか。</p>	<p>各論、各項目の一律な数の設定は設けておりませんので、本県のスポーツ実態に応じた設定を行ってまいります。</p>
14	<p>・スポーツの価値について考えてもらうページを作成してはどうか（前章に記載する）</p>	<p>計画作成に当たっては、「スポーツの価値」についての記載も予定しております。</p>
15	<p>・障がい者がスポーツをする場合やスポーツを通じた社会参加に至るまで「セパレート型」と「インクルーシブ型」の両極及び、これら2つが混在した「ミックス型」など3つのパターンがあげられる。障がい児者のニーズに合った選択が出来るのが望ましい。福島県スポーツ推進基本計画には、それらをわかりやすく記載することが望まれる。</p>	<p>左記の3つの文言については、今後記載の検討を進め、県民の皆様によりわかりやすい内容となるよう努めてまいります。</p>
16	<p>・近年はエビデンスベースによる計画策定が主となっているため、下記のようなことも検討いただきたい。</p> <p>①実態の調査（障がい当事者が運営する組織や活動について）</p> <p>②好事例のヒアリング</p> <p>a) 公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会 導入教室の取り組み</p> <p>b) 地域クラブの取り組み いわきサンアビリティーズスポーツクラブ</p> <p>c) 地域クラブ結成の取り組み みんなでスポーツクラブ</p> <p>d) 二本松市脳卒中友の会の取り組み</p> <p>e) 導入時の指導法やドイツでの好事例</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>今回の当計画策定に向けて、時間の制約もありますが、ご意見を参考に検討してまいります。</p>